

行動規範



当社価値観の実践

ケアリング ・ グローバル チームワーク ・ 継続的改善



最高の倫理基準を
遵守するために

会長 兼 社長 兼 経営最高責任者からのメッセージ

現在、倫理上のリーダーシップが今までになく重要になっています。ケアリング、グローバル、チームワーク、継続的改善という当社価値観に加え、当社の誠実さと最高の倫理水準への評判は、当社の強みと競争上の優位性の原点となっています。当社の評判は、コルゲートの従業員、消費者、顧客、投資家およびビジネスパートナーにとって非常に重要です。

約30年前に制定されて以来、当社の行動規範は、コルゲートの価値観を反映する一連の原則で私たちを導き、倫理的行為の指針となるべく基準を確立しました。当社の行動規範は、その時々々の現状に即すように、定期的に見直され、更新および再発行されています。世界各国で事業を行なう真のグローバル企業の一員として、私達自身の行為と意思決定が、当社の行動規範に表される理想と価値観に確実に沿う必要があります。

私たちは皆、日常生活や財務、地域コミュニティ、あるいは倫理に影響する決断を毎日行っています。誠実に、最高の倫理水準に則って行動するという個人的責任に導かれた決定を下すために、従業員各人がコルゲート・ファミリーの一員として当社の行動規範を熟読し、理解し、完全に遵守することが重要です。

コルゲートの従業員には、その言動を通じて、倫理的行動を実践することが期待されます。これには、当社の行動規範、当社の他の方針、または関係法令に相反する問題行動に対し、「率直に発言する」ことが含まれます。

コルゲートの従業員は、当社の業績を誇りとし、結果はもちろん重要なことですが、それを達成させるための努力も重要です。皆さんの事業の成功に必要な不可欠である全社共通の価値観への継続的なコミットメントと、倫理的リーダーシップに感謝申し上げます。



ian cook

イアン・クック

会長 兼 社長 兼 経営最高責任者

当社価値観の実践

ケアリング、グローバルチームワーク、継続的改善というコルゲートの価値観を実践に移すことにより、従業員が共通の目標に向けて一丸となって協働する社風が生まれます。当社の基本となる3つの価値観は、私たちの行動すべてに不可欠な要素です。

ケアリング

コルゲートは、従業員、顧客、株主、消費者、供給業者、ビジネスパートナーを大切にします。当社は、いかなる状況においても、誠実かつ正直に、思いやりと最高の倫理基準を持って行動すること、敬意を持って他人の意見を聞くこと、そして相違に価値を置くことに取り組んでいます。さらに、地球環境の保護、コルゲートの従業員が暮らし就労する地域コミュニティの向上、すべての行政の法規制の遵守にも専心しています。

グローバルチームワーク

コルゲートの全従業員は、世界各地で国境を越えて協力し合うことを表明するグローバル・チームの一員です。アイデア、テクノロジー、才能を分かち合うことによつてのみ、当社は収益性のある成長を達成および維持することが可能です。

継続的改善

コルゲートは、個人およびチームとして、すべての行動において日々向上するために努力します。消費者および顧客の期待をよりよく理解し、製品、サービス、プロセスの改革と改善を目指して継続的に努力することにより、コルゲートは最良の企業になることができます。競争がますます激化する今日の市場において、コルゲートの価値観は、個人、チーム、そして会社の成功の基盤となります。他者を尊重し、コルゲートの価値観を実行することによつてのみ、傑出した業績達成が望めるのです。

敬意をもって管理する

「敬意をもって管理する」とは、コルゲートの従業員がコルゲートの価値観を実行に移す方法を意味します。

敬意をもって管理することにより、従業員が自由に発案、アイデアを寄与、そして組織に貢献することのできる環境が生まれます。

敬意をもって管理することにより、最大限の可能性を発揮するために、従業員が心からお互いを思いやり、協力し合える環境が生まれます。

敬意をもって管理することの原則：

コミュニケーション

アイデアを明確かつ分かりやすく表現する。他者の意見を聞く。人々が自分の考えを安心して表現できる環境を作る。他者との情報の伝達が適時かつ継続的に行われることを奨励する。

双方向でのフィードバック

建設的で具体的なフィードバックを提供あるいは求めることにより、コルゲート全従業員を成長させる。方向性を提供し、従業員が業務を順調に進捗できるよう援助する。前向きな変更を促し、卓越した業績が出せるよう刺激を与える。

ユニークな貢献を評価

他者の貢献と優れた仕事ぶりを重視し、認める。個性を尊重する。意思決定と優先事項の設定において、他者に参加してもらう。各人の相違に対して従業員を大切にすることは、現在ならびに将来の事業の成功を築き維持するために非常に重要である。

チームワークの促進

共通の目標へのコミットメントを生み出す。対立を肯定的な方法で解決する。

手本となる

倫理的な事業活動の遂行、ストレス管理、快適でバランスのとれた職場環境を作り出す良き手本となる。

コルゲート・パルモリーブの行動規範

目次

行動規範の概要

従業員同士の関係 9

- 当社は良好な従業員関係の構築に努めます
- 開放的で正直なコミュニケーションを促進します
- 従業員を当社の最高資産として大切にします

会社との関係 12

- 当社は利益相反を回避します
- 当社は当社の企業秘密と機密情報を保護します
- プレスおよびメディアからの要請に関する方針を遵守します
- 当社は正確な帳簿と記録を維持します
- 当社はコルゲートの資産を保護します
- ITリソースとソーシャルメディアを責任を持って利用します

当社取締役会との関係 19

- 当社は、独立した経験豊かで多様性に富む取締役会を有します
- 当社は取締役会との直接的かつ開放的なコミュニケーションを促進します
- 当社は卓越したコーポレート・ガバナンスに専心しています

社外事業体との関係 20

- 供給業者、顧客およびその他の第三者と倫理的に取引します
- 当社は不適切な贈物を贈収しません
- 当社は他者の企業秘密および機密情報を尊重します

消費者との関係 22

- 当社は当社製品に対して最高の基準を設定します
- 当社は消費者のニーズに応えます
- 当社の広告は正直かつ正確です

政府および法律との関係	24
<ul style="list-style-type: none">● 当社は関係法令を遵守します● 当社は競争法を遵守します● 当社は証券法を遵守します● 当社は贈収賄禁止法を遵守します● 当社は国際貿易規制を遵守します● 当社はデータプライバシー法およびデータ保護法を遵守します● 当社は記録保存法を遵守します● 当社は政治献金を行ないません	
社会との関係	31
<ul style="list-style-type: none">● 当社は地元での寄付および慈善活動に参加します● 当社の事業に影響を与える問題について政府に協力します● 当社は搾取的、非人道的な労働慣行に反対します● 当社は万人の人権へのコミットメントを示します	
環境との関係	33
<ul style="list-style-type: none">● サステナビリティと社会的責任に専心します● 環境保護に努めます	
株主との関係	34
<ul style="list-style-type: none">● 当社は株主価値を保護するために十分なコーポレート・ガバナンスを支持します● 投資家の信頼感を高めるために堅強な監査プログラムを維持します● 株主に当社の進展に関する最新情報を継続的に提供します	
コンプライアンスの義務	35
<ul style="list-style-type: none">● コミュニケーションと開示は必要不可欠です● 当社には従業員が指導を必要とするための社内リソースがあります● 適切なリソースに懸念を報告するために率直に発言します● 懲罰措置が取られる可能性があります● 行動規範は従業員および当社の全活動に適用されます	

行動規範の概要

「コルゲート行動規範 (Colgate Code of Conduct)」は、日常業務が誠実さをもって行われるための重要なリソースとなります。本行動規範は、業績を達成させる方法が重要であることを明確に伝えるものです。本規範は、当社ならびに子会社の取締役、役員、全従業員を含む「コルゲートの従業員」全員に適用されます。さらに、「コルゲート第三者行動規範」の遵守は当社と取引を実施する条件の一つであることから、供給業者や他の業者も、これらの条件の対象となります。

各従業員が、行動規範、「グローバルビジネスプラクティスガイドライン (Global Business Practices Guidelines)」、会社方針、ならびにすべての関係法令を遵守することにより、インテグリティとリーダーシップを示す責任があるということです。さらに、従来の事業関係と意思決定に企業倫理とインテグリティを完全に統合することにより、最高の倫理基準を促進する企業文化へのコミットメントを示します。

行動規範あるいはそれに関係するコルゲートの方針あるいは手続きの解釈、または遵守について何らかの疑問あるいは懸念を抱く場合は、その状況を上司、人事部 (Human Resources)、グローバル・リーガル組織 (Global Legal Organization)、あるいはグローバル企業倫理・コンプライアンス部 (Global Ethics and Compliance) に相談してください。

最高の倫理水準を維持すること、そして報復を恐れることなく従業員が懸念事項を会社に連絡することが奨励される、不適切な行為または不法行為が一切存在しない職場環境を作ること、コルゲートの方針であり、慣行でもあります。従って当社では、主張または提供された情報が故意に虚偽であったことが判明しない限り、行動規範の違反の疑いに関して苦情、報告、調査への参加もしくは援助を行なった従業員に対して不利な措置を取ることは一切ありません。コルゲートは、可能な限り最大の範囲にわたり、すべての苦情の守秘性を維持します。報復の容疑はすべて調査され、必要に応じて、解雇を含む懲罰措置の対象とされます。

行動規範はオンラインで入手可能であり、40ヶ国語に翻訳されています。コルゲートの従業員には、本規範を読み、理解したうえで遵守することが求められています。私たちのコミットメントを強化するために、コルゲートの従業員には毎年規範のトレーニングと修了証明書が提供されます。

適切な判断力を行使し、疑問が生じた場合に指導を求めていくことにより、行動規範への遵守を確実にすることがより容易になります。特定の行動に対する判断に迷う場合は、以下を自問自答してみてください。

倫理的な意思決定をするための質問

問：

自分はこれをする権限があるか？

問：

これは手本となる行動か？

問：

この行動は正しいか？

問：

この行動は合法的であり、コルゲートの価値観、行動規範、事業慣行ガイドラインおよびその他の方針に合致しているか？

問：

この行動は自分が尊敬する人に誇りを持って報告できるようなことか？

問：

この行動はコルゲートの倫理的な会社としての評判をさらに強化するか？

問：

最高の倫理水準を行動で示しているか？

答：

はい、進む。

いいえ、グローバル・リーガル組織またはグローバル企業倫理・コンプライアンス部に相談してください。

従業員同士 の関係



従業員同士のやりとりは、相互の信頼および尊敬に基づいたものであるべきです。

当社は良好な従業員関係の構築に努めます

コルゲートは、個々の従業員の強力な関与と、そのコミットメントの結果としてもたらされる卓越した功績を誇りとしています。しかし、この高レベルのコミットメントは、信頼、開放性、正直なコミュニケーションならびに尊敬に満ちた環境があって初めて達成されることが出来るものです。各人の同僚、直属の部下、上司とのやりとりは、すべて協力関係として実施されるべきであり、各個人の行為は、最高の倫理水準への、すべてに優先するコミットメントにより統制されるべきです。

同僚との関係は、勝利を収めるチームの一員としての関係であるべきです。協調性を持ち、一連の共通目標に目を向けて働く人々は、当社事業の推進力です。このような強いチーム関係が上手く機能するためには、各人が自らの責任を果たすことが必要です。そのことによって、他の従業員も確実にそれに倣うでしょう。つまり、仕事を成し遂げるためには、あらゆる立場の従業員に必要な支援を提供することを意味します。個人または部署のいずれも、当社の優先事項よりも自らの優先事項を優先してはなりません。

同僚との関係は、品位、公正、信頼性の模範を定め、それを示すことにより、倫理を促進するものであるべきです。従業員全員が、リーダーとして業績の基準を高く維持し、チームワーク、尊敬および倫理的行動を促進する環境を創ることに責任を担います。

開放的で正直なコミュニケーションを促進します

創造的で革新的な思考を奨励してください。上司は、部下を一個人として扱い、職務遂行に必要である自由を提供し、さらに業績改善のための助言を提供します。

部下と上司との関係は、相互の尊敬と信頼に基づいた関係であるべきです。部下と上司は、各部署について社内を設定した目標を達成するという共有目的を持つ、一つのチームです。

チームのコミュニケーションが開放的で正直であることを徹底する責任については、部下も上司と同等の責任を負います。可能な限り頻繁にイニシアチブをとって行動してください。問題の解決においては革新的に対処します。事業部門の目標と全社の目標の達成には、各人の協力と創造性が不可欠です。

従業員を当社の最高資産として大切にします

従業員を思いやるコルゲートのコミットメントは、個人やチームの業績促進と功績に対する報奨を目的とした各種プログラムに現れています。従業員は、可能な限りの向上を図り、当社の成功に有意義な貢献を果たすことが奨励されます。最終的には、世界中の才能と技能を併せ持ったコルゲートの従業員が努力することが、当社の成功を可能にするのです。

詳細は、ourcolgate.com で「[当社の雇用機会均等に関する方針](#)」を参照してください。

- 差別のない職場環境を維持し、当社の労働力にあらゆる経歴の人々を引きつけ在籍させることにより、卓越性を達成する。

- コルゲートの従業員の、職場における、または就業中のあらゆる者による性的またはその他のいかなる類の嫌がらせも禁止する。
- 当社が採択した方針および手続きに準じ、職場におけるえこひいき、またはえこひいきの様相を呈する行為の回避に努める。

詳細は、ourcolgate.com で「[当社の嫌がらせ禁止に関する方針](#)」を参照してください。

コルゲートは、雇用機会をすべての適格者に平等に提供します。当社は、以下を理由として、従業員または求職者を差別することはありません。

これには募集、雇用、昇進、移動、報酬、研修、降格、解雇の項目が含まれますが、この限りではありません。

- | | |
|-----------|------------|
| ● 人種または民族 | ● 性的指向 |
| ● 肌の色 | ● 心身障害 |
| ● 宗教 | ● 婚姻状況 |
| ● 性別、性同一性 | ● 軍役経験 |
| ● 出身国 | ● その他法律により |
| ● 年齢 | 保護される特性 |

問：

私の上司はチームメンバーの何人かに対して、敬意をもって管理することの原則に反する失礼な扱いをしていると思うのですが、確かではありません。EthicsLine を利用してこの件について誰かに相談することはできますか？

答：

はい、できます。しかし、職場の問題についての懸念がある場合、現地の人事部担当者またはリーダーシップ・チームの信頼のおけるメンバーに相談することもできます。希望する場合、グローバル企業倫理・コンプライアンス部に問い合わせ、指導や説明を求めすることもできます。

問：

当部署に所属する従業員がある同僚の性的指向に繰り返し言及しており、これには軽蔑的な表現も含まれます。私が注意すると、ジョークに過ぎないと言い、この行為は今も止むことがありません。私は正しいことをしたのでしょうか？

答：

はい。あなたは率直に発言することにより、正しい行動を取りました。しかし、あなたの努力にもかかわらず、問題の行動が続いています。当社の行動規範、方針または敬意をもって導くことの原則に違反する行動については、上司、人事部、グローバル・リーガル組織あるいはグローバル企業倫理・コンプライアンス部に相談してください。

- 児童労働を利用しない。児童労働とは、該当する司法管轄区域の法律により許可される、最低年齢未満の個人を雇用することと定義されるが、当社は、いかなる場合においても、年齢十六（16）歳未満の者を故意に雇用することは一切ない。
- 職場から潜在的な危険を排除し、適用される労働安全衛生に関する法律および基準をすべて遵守することに努める。
- 以下を実施することにより、コルゲートの従業員およびその他全員にとって安全、衛生的、生産的な職場環境の維持に助力する。
 - 当社の敷地内で、または当社の就業時間中に、違法薬物あるいはその備品を所持、使用、販売、譲渡することの禁止。
 - 酒気帯び状態で当社の事業を実施することの禁止。
 - 現地の法律を前提として、当社の敷地内で、または当社の事業の実施中に、武器/火器、爆破装置あるいは弾薬を所持または使用することの禁止。武器の所持は、その所持がコルゲートの従業員の安全および保障を確保するために必要と判断される場合には、警備人員に対して権限を与えることがあり得る。
 - 暴力、脅迫、下品、あるいは威嚇と受け取られる可能性のある一切の行動の禁止。
 - 職場における薬物またはアルコールの乱用、会社の敷地内もしくは業務時間内の暴力あるいは違法にあたる武器の所持は、人事部、グローバル・セキュリティ（Global Security）、グローバル・リーガル組織、グローバル企業倫理・コンプライアンス部または経営陣に即時に報告することを義務付ける。

問：

同僚の一人が高齢であるため、その年齢の人には大変であろうと思われる任務を積極的に支援して楽にさせてあげようと務めています。私は手助けをしようとしているだけなのですが、最近、上司から彼が気分を害していると聞かされました。この行動は間違っていますか？

答：

はい。年齢を理由に、同僚があなたと同じ技量と能力を持っていないと考えるべきではありません。年齢を理由に他者を異なる方法で待遇することは、職場では決して許容されません。あなたが思いやりから支援したいと思ったこと、そして悪意からではないことをこの同僚に率直に話し、説明してください。

会社 との関係



コルゲートの従業員は、従業員に託された信用と信頼を認識し、あらゆる状況において信頼性と正直さを持って行動します。

当社は利益相反を回避します

判断力は、個人の最も価値ある資産の一つです。当社のために、または当社において事業活動を遂行する際に、当社の正当な事業利益に相反する、または自らの客観性もしくは独自の判断力の行使を損なうと見受けられる活動、関心あるいは関わりは、いかなるものも回避すべきです。相反は、数多くの状況から生じる可能性があります。それらをすべてここに網羅することは不可能であり、また、正当な活動と不正な活動を区別することは常に容易であるとは限りません。疑念が生じた場合には行動を起こす前に、人事部、グローバル・リーガル組織、グローバル企業倫理・コンプライアンス部あるいは上司に相談してください。

以下は、最も一般的な相反状況に適用される指針です。

投資

従業員は事業上の意思決定に影響し得る投資を行なってはなりません。コルゲートの従業員がコルゲートと競合または取引する会社の株式を所有すること、または所有権を保有することは、会社方針により禁止されています。この禁止は、上場会社の株式の小額所有（通常は1%未満）には適用されません。但し、投資は、利益相反の様相を呈するほど高額ではないことを条件とします。コルゲートに入社する前に禁止され得る投資を行なった場合には、グローバル・リーガル組織に連絡してください。

家族

コルゲートを代表して、本人またはその親族が利害を有する会社と取引を行なう際には、事前に上司に通知し、所属する事業本部または部署の部長およびグローバル・リーガル組織から承認を取得しなければなりません。

他の職

コルゲートに勤務しながらコルゲートの競合会社のために働いてはなりません。また、従業員自身の業務上の成果または判断力に悪影響を及ぼし得るような第三者（流通業者、顧客、あるいは供給業者）のために仕事を行ったり援助を提供したりしてはなりません。当社の時間、施設、リソース、ブランドあるいはロゴを、所属する事業本部または部署の部長の正式な承認なしに、当社での従業員自身の職務に無関係な社外の仕事に利用してはなりません。

個人

コルゲートでは、職場で出会う人々と自由に交際するコルゲートの従業員の権利を認識し尊重しますが、そうした交際関係が業務成果、該当人物の監督能力、あるいは職場環境に悪影響を及ぼさないことを徹底するために、適切な判断力を行使しなければなりません。

従業員間の恋愛関係または友人関係から生じる職場での行動は、その行動が他の者にとって居心地の悪い職場環境を生み出す、または優遇とみなされる場合は、すべて不適切となり得ます。えこひいき、または当社の最善の利益よりも恋愛関係や友人関係に基づいて事業上の意思決定を下すことは禁止されています。恋愛関係あるいは友人関係にある個人は、臨機応変の才、適切な判断、そして気配りを持って行動すべきです。

自分と恋愛関係にある人物を監督する立場になってはなりません。このような状況においては、両従業員が人事部および/またはグローバル企業倫理・コンプライアンス部に報告する必要があります。

親族が利益相反を生み出す、または生み出すと見受けられる可能性のある職務に雇用される可能性があるという事を、意識することが重要です。このような状況が発生した場合には、上司、人事部あるいはグローバル・リーガル組織に相談し指導を求めてください。

取締役会

社外の事業体または政府機関の取締役会あるいはそれに類似する団体への就任は、それに合意する前に、最高経営責任者および最高法務責任者から承認を得なければなりません。

非営利組織の理事会に加わるのに承諾を得る必要はありません。ただし、その団体が当社と取引関係にある場合には、所属する事業本部または部署の部長から許可を得る必要があります。

他の考慮事項

私たちは、当社の価値観を反映し、仕事上の強い関係を奨励する前向きな職場環境を維持するよう努めています。利益相反は社外の者との取引から生じることが多い一方で、相反あるいは相反と見受けられる事柄が、社内でのやりとりから生じることもあります。他者を管理する立場にある従業員は、他者からえこひいきや利益相反の可能性に見受けられる状況を作り出さないよう、特に注意を払う必要があります。

質問がある場合、または利益相反の可能性のある状況にあると思われる場合、上司に相談してください。当社は、状況に対処し、適切な解決方法を見出すために協力します。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第7章の、「[利益相反に関する問題](#)」に関するガイドラインを参照してください。

問：

親族が掘削会社を所有し、私が勤務する製造工場での取引に入札を予定しています。私は製造ラインで業務に携わっており、意思決定の権限を持っていません。この件を利益相反の可能性として申し出る必要がありますか？

答：

はい。入札プロセスの結果を直接コントロールすることができないとしても、従兄弟が会社と関係をもつという事実は、利益相反と見られる可能性があります。人事部、グローバル・リーガル組織または上司に相談してください。

当社は当社の企業秘密と機密情報を保護します

コルゲートの企業秘密、その他の機密情報ならびに大半の社内データは、貴重な資産です。企業秘密とは、一般的に知られず容易に露呈されず、競争上慎重に扱われる必要がある、当社の事業に関連して利用される情報を意味します。したがって、その機密性を維持するために努力が払われています。企業秘密と機密情報を保護することは、当社の継続的な成長および競争力にとって極めて重要な役割を果たします。

企業秘密およびその他の機密情報の例

- 当社の事業において活用され、当社に競合各社に対する優位性を獲得する機会をもたらす公式、設計、装置、情報
- 公開されていない知的財産
- 業務上の調査
- 新製品の計画
- 非公開の財務情報または非公開の価格情報
- 製造工程
- リリースされていないマーケティングまたは営業用の資材
- 法的見解または弁護士が収集した情報
- コルゲートの製造または研究施設にいる際に撮られた未許可の写真またはビデオ
- 従業員、顧客または業者のリスト
- 顧客の要件、志向、事業慣行、計画に関する情報

上記は、完全ではないものの、防護の必要がある広範囲にわたる様々な情報が存在することを示唆します。企業秘密およびその他の機密情報は、特許性を有するものである必要はありませんが、公に知られてはなりません。

コルゲートの企業秘密およびその他の機密情報に関する各人の義務は以下の通りです。

禁止



「知る必要」または「使用する必要」に基づく場合を除き、この情報を他のコルゲートの従業員や第三者に開示しない。

禁止



第三者のITセキュリティコントロールを適切に検証することなく、また、第三者との間に適切な秘密肘契約を結ぶことなく当該情報を第三者に扱わせない。

禁止



公共のウェブサイトやソーシャルメディアにおいて、当該情報の掲示あるいは協議を行なわない。

禁止



当該情報を自分自身またはコルゲートの社外の人々の無許可の利益のために利用しない。

奨励



当社の企業秘密および機密情報を保護するために、他のあらゆる妥当な手段を講じる。

コルゲートを離職しても、当社の企業秘密およびその他の機密情報を保護する義務は継続します。さらに、通信文、印刷物、電子情報、あらゆる種類の文書あるいは記録、特定のな処理の知識、手続き、コルゲート特有のやり方などは、それが機密情報であるか否かを問わず、すべて当社の財産であり、当社内に留められなければならないことを、覚えておくべきです。従業員は、退職する場合、自分が所持、保管あるいは管理するコルゲートの財産を返却しなければなりません。

ある情報が機密情報か否か、または企業秘密か否かに関して疑問のある場合には、グローバル・リーガル組織に連絡しなくてはなりません。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第12章の、「[当社の専有情報の保全](#)」に関するガイドラインを参照してください。

問：

職場へ向かうエレベーターの中で、2人の同僚が開発中の新製品にかかわる作業について話しているのを耳にしました。私たちは他の会社と事務所のスペースを共有しているため、この同僚が話していたことが機密情報のように思われたことから心配になりました。何か言うべきでしたか？

答：

はい。ロビー、カフェテリア、エレベーターなどの公共の場は、機密情報に関する話をするには不適切な場所です。コルゲートの従業員は、そのような場所で会社の機密情報について話し合わないことが非常に重要です。懸念を伝えるために、同僚に対して「率直に発言」し、状況に目を向けさせることを奨励します。

プレスおよびメディアからの要請に関する方針を遵守します

- メディア、プレス、金融業界、あるいは一般公衆から、コルゲートの財務情報および事業情報に関して会社を代表して話して欲しいと依頼があった場合は、コーポレート・コミュニケーションズ担当バイスプレジデント、またはインベスター・リレーションズ担当バイスプレジデントに照会しなければなりません。
- 証券取引委員会、ニューヨーク証券取引所、あるいは世界中のその他の規制当局や当局からの、コルゲートの代理としての情報提供の要請は、グローバル・リーガル組織に照会されなければなりません。

かかる問い合わせ、または連絡にはいかなる従業員も自分自身で会社の代理として対応しないことが極めて重要です。なぜなら、不適切または不正確な返答は、それが情報の否認あるいは免責であれ、いかなるものも結果的に不利なパブリシティを生み出す可能性があり、それ以外にも当社に重大な影響を及ぼす可能性があるからです。

この方針は、年次報告書および四半期報告書など、公に入手可能とされている財務情報の要請、または当社の販促関連のパブリシティ活動には適用されません。

当社あるいはその関連会社の代表としてのコルゲート従業員とのインタビューの要請、当社のプレスリリースおよび/または声明文の発行の要請は、いずれもコーポレート・コミュニケーションズ担当バイスプレジデント、またはインベスター・リレーションズ担当バイスプレジデントにより事前に検討され承認されなければなりません。同様に、当社が率先するインタビューも、メディアとのスケジュールが設定される前に承認を受けなければなりません。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第4章の、「[証券取引および情報の機密性](#)」に関するガイドラインを参照してください。

当社は正確な帳簿と記録を維持します

当社の財務状況および業績は、法律の要件および一般に公正妥当と認められる会計原則 (GAAP) に準じて記録されなければなりません。当社は、当社の会社方針ならびに法律により、当社の事業取引および会社資産の処分の性質を正確かつ公正に反映した帳簿、記録、および勘定を維持することを命じられています。

当社の会計処理および財務記録の完全無欠性は、当社の帳簿と勘定への記帳を裏付けるために提供される情報の正確さと完全性に基きます。このような情報の作成、処理、および記録に関する従業員は各自、その情報の完全性に対して責任を負います。会計上または財務上の記入は各々、裏付け文書により説明される内容を正確に反映すべきです。経営陣に対する、もしくは経営陣による、または当社の社内監査役あるいは独立監査人に対する情報の隠蔽があってはなりません。

当社を代表しての支払いはいずれも、支払いのいかなる部分も支払いを裏付ける文書により説明される目的以外に利用される場合、承認または実施されてはなりません。いかなる理由によっても、当社の帳簿または財務記録に虚偽の、または誤解を招く記入をしてはなりません。当社の帳簿および記録に適切に反映されない資金、資産、あるいは勘定は、いかなる目的でも一切、設定、取得、あるいは維持されてはなりません。当社の資金あるいは資産は、不法または不正な目的のために利用されてはなりません。

財務情報の作成に責任を担うマネジャーおよびその他の従業員は、当社の会社財務方針の遵守を徹底すべきです。収益および経費は、適時、適切に認識されなければなりません。

資産および負債は、正当に記録され適切に評価されるべきです。さらに、当社の証券取引委員会への届出の準備および関係法令により命じられるその他の届出、または実業界または金融業界とのコミュニケーションに責任を負う、またはそれに関与する従業員は、これらの届出の開示内容およびコミュニケーションが、それが行われた時点で完全、公正、正確、適時、かつ理解可能であることを徹底するものとします。会計上または財務上の記入内容、当社の証券取引委員会提出報告書、あるいはその他の通信書類における脱漏、偽造、不正確さの可能性に気づいた場合、または内部統制の亀裂に気づいた場合には、情報を上司またはグローバル・リーガル組織に即時に報告しなければなりません。また、当社のグローバル企業倫理・コンプライアンス部に問題を連絡することも可能です。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第5章の、「[会社文書](#)」に関するガイドラインを参照してください。

当社はコルゲートの資産を保護します

コルゲートの資産、施設、あるいはサービスは、合法的かつ正当で正式に承認された目的のみに利用されなければなりません。金銭、財産、あるいはサービスの窃盗は厳禁です。当社の設備、システム、施設、コーポレート・クレジットカード、および備品の使用は、コルゲートにおけるあなたの職務に関連するか、経営陣により正式に承認された目的のためのものでなくてはなりません。従業員は各自、会社から自分に託された財産を保護することのみならず、当社の資産全般の保護に助力することに対しても、個人的に責任を負います。従業員は各自、当社の財産の紛失、誤用、あるいは窃盗につながり得るようなあらゆる状況あるいは事件を警戒すべきであり、そのような状況に気づいた場合はすべて速やかに上司またはグローバル・セキュリティ (Global Security) に報告しなければなりません。

問：

次期まで特定の費用の計上を遅らせるよう頼まれたらどうすべきですか？たとえば、「本事業年度内に記録する限り、不正行為を働いていることにはならない」と説明されたとしたら、これは正しいですか？

答：

いいえ。経費の計上を意図的に遅らせることは、金額に関わらず、虚偽であり容認されず、不法行為に当たる可能性があります。いかなる商取引または金融取引も、たとえ無形であっても、正確かつ正直に報告しなければなりません。当社の文書や記録の改ざんは、重大な違反であり、解雇を招く恐れがあります。

特定の当社役員およびその他の上級管理職のみが、当社の資産に影響する確約を結ぶ権限を有しています。正当な権限を有さない場合、当社の資産に影響する確約を結んではなりません。質問がある場合、または説明を必要とする場合、現地あるいは事業本部の財務担当ディレクターに連絡すべきです。

ITリソースとソーシャルメディアを責任を持って利用します

コルゲートのITリソースとソーシャルメディアは、責任を持って、行動規範および当社の他のすべての方針と手順に沿って利用する必要があります。

コルゲートのITリソースには、当社が所有、リースあるいは提供するデータの収集、保存、伝達および処理を行なう、現行および将来取得するすべての機器、ソフトウェアおよびサービスが含まれます。

コルゲートのITリソースは、限定的かつ適切な個人使用のみを除き、当社の事業目的のために、敬意あるプロフェッショナルな方法で利用されるべきです。

また、以下に示す利用は禁止されます。

- 人種、宗教、出身国、民族、肌の色、性別、性同一性、年齢、市民権、軍役経験、婚姻状況、心身障害、あるいは法律により保護される特性に、不快感与えるメッセージを含んだ、嫌がらせの、差別した、侮辱した、名誉毀損の、詐欺になる、あるいは脅迫するメッセージ。
- 当社の機密情報あるいは企業秘密情報の不正分配、または機密情報の会社業務あるいは社内手続きについての社外における不正協議。
- ネットワーク・コミュニケーションのセキュリティ違反または中断の引き起こし、あるいは許可、または、本人のユーザIDまたはパスワードの他人への不当な漏洩もしくは本人のユーザIDまたはパスワードの他人による使用の許可。
- 当社の事業慣行ガイドラインまたはITリソースとソーシャルメディアの利用に関するガイドラインで禁止される他のあらゆる利用。

関係法令により制限される場合を除き、コルゲートは、適切な状況において関係法令に従い、当社の裁量によって、当社のすべてのITリソースを監視、アクセス、および検証する権利を有します。当社がITリソースを監視、アクセス、および検証する権利は、当社のITリソースを利用して作成、保存あるいは送信された業務上および個人の情報を網羅し、さらに、当社のITリソースを介してアクセスされたソーシャルメディアのサイトをも含みます。従業員は、こうした業務上および個人の情報に関してプライバシーを期待すべきではありません。

コルゲートは、あらゆるユーザのコルゲートITリソースへのアクセスあるいは使用を、理由に関わらず、また事前通知の有無を問わず、法令で禁じられる場合を除き、随時終了する権利を有します。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第13章の「ITリソースとソーシャルメディアの利用」に関するガイドラインを参照してください。

当社取締役会 との関係



幸運にも、当社では傑出した優秀な人材のグループが当社の取締役会に就任し、当社の継続的成功にとって必要不可欠な助言、指導、およびリーダーシップを提供してくれています。当社の取締役会は、各取締役のビジネス、教育、公共サービス、国際経験、学術的功績、道徳上および倫理上の特性、および多様性における総合的背景から、当社の事業に対して効果的な監督を提供します。

当社は、独立した経験豊かで多様性に富む取締役会を有します

独立性はインテグリティ（完全無欠）とアカウンタビリティ（説明責任）を促進します。主として社外独立取締役から構成される取締役会を備えることがコルゲートの方針です。監査、報酬、ガバナンスなどの諸事項を監督する取締役会委員会に就任している取締役は、全員が独立取締役です。取締役の兼任は一切なく、また、独立取締役はいずれも、コンサルティング、法務、あるいはその他の取締役職以外による手数料を当社から受領しないことも当社の方針です。

当社は取締役会との直接的かつ開放的なコミュニケーションを促進します

コルゲートの取締役は、取締役会の内外で、当社経営陣と直接頻繁に連絡を取り合っています。主な上級幹部が定期的に取り締役に参加し、事業上の様々な課題に関し取締役と積極的に率直な協議を行います。定期的な取締役会議の合間には、取締役は質問および提案のために上級管理職に連絡することが歓迎され、事実、頻繁に連絡を取っています。その結果としての開放的で率直な雰囲気は、コルゲート全体の企業文化に反映し、取締役会が当社の事業戦略の開発および指導において積極的な役割を果たす上で役立っています。

当社は卓越したコーポレート・ガバナンスに専心しています

コルゲートの取締役会は、コーポレート・ガバナンス・イニシアチブを支持するリーダー的役割を果たしてきました。コルゲートは、同業他社に先駆け、すべての事業取引を統制する行動規範を正式に採択し、取締役会およびその委員会の綱領を開発した最初の会社の一つとして、卓越したコーポレート・ガバナンス慣行を過去20年以上にわたり実践し、継続的に改善し洗練化してきました。コルゲートの取締役会は、これら方針の中心に位置し、優れたコーポレート・ガバナンスは当社の事業の長期的な成功を刺激し、多大な貢献をすると強く確信しています。

詳細は、colgatepalmolive.com で「重要なコーポレート・ガバナンス問題に関するコルゲート・パルモリーブ取締役会ガイドライン」を参照してください。

社外事業体 との関係



当社が供給業者、顧客および第三者にどのように見られているのか、従業員一人一人がその責任を担っています。供給業者と顧客間の正直さ、および取引の公正さに対する当社の評判を従業員が維持することは、極めて重要なことです。

供給業者、顧客およびその他の第三者と倫理的に取引します

供給業者、顧客およびその他の第三者との正直な取引は、健全で長く継続する取引関係に必要不可欠です。また、すべての見込みのある第三者について、公正かつ平等に考慮します。業者選択の決定は、価格および品質、ならびに信頼性および誠実さなどの客観的基準に基づいて下されます。

さらに当社は、いかなる第三者に対しても、価格、販促用の支給、マーケティング上の援助、あるいはそれに類似する点での個人的な優遇を提供しません。供給業者、顧客および第三者とのやりとりに関しては、この行動規範の「政府および法律との関係」に言及したセクションにおいてさらに説明されています。

コルゲート**第三者行動規範**は、当社ウェブサイトから数ヶ国語で入手可能です。

当社は不適切な贈物を贈収しません

事業上の意思決定に影響を及ぼすため、またはそう見受けられる、贈物、支払金、あるいはその他の便益（賄賂とリベートが含まれるがこの限りではない）を贈収することは容認されません。名目上の価値（50米ドル）を上回る金額の贈物、支払金もしくはその他の便益の提供を行なう意図がある、既に提供した、申し出を受けている、または受領した場合、あるいはかかる贈物、支払金もしくはその他の便益が、事業上の意思決定に影響を及ぼすことを意図して申し出もしくは提供されていると思われる場合、グローバル・リーガル組織またはグローバル企業倫理・コンプライアンス部に連絡しなければなりません。さらに、単一の送り元から名目上の価値の贈物を受け取ることができるのは1暦年中1回のみであることも念頭に置かなければなりません。名目上の価値を超過する贈物を受諾しないと、当社にとって気まずいことになるような場合には、その贈物の受諾は、グローバル・リーガル組織に報告されるべきです。さらに、当社が既存の事業関係を持つ人物、または将来的な事業関係の確立を望む人物の親族のために、名目上の価値を超過する贈物、支払金、あるいはその他の便益を手配したり受諾したりしてはなりません。

次の原則に従ってください：「贈物あるいはサービスによって自分の誠実さを損なう、または損なうと見受けられる可能性があれば、贈物あるいはサービスを決して受諾しない。」これには、偶発的、妥当な接待、あるいは名目上の価値の贈物は含まれません。

連邦、州、地方、あるいは外国の政府関係者および諸政府との取引においては、非政府機関との取引に関する規則とは異なる、当該の行為を統制する特別な規則が存在することを認識すべきです。一般的に、グローバル・リーガル組織により事前の許可がない限り、政府職員または政府に対して贈物、謝礼、あるいは食事または旅行を含む有価のものを申し出ること、または提供することは禁止されています。

政府関係者または政府への贈物に関する詳細は、「政府関係者および政府に関する支出に関するグローバルポリシー」ならびに関連する「承認フォーム」を参照してください。

コルゲートの供給業者およびその他の業者は、当社と取引する場合、第三者行動規範遵守の要件と、違反した場合には当社との取引を失う可能性があることを常に知らされるべきです。さらに、当社は、顧客または供給業者の方針が当社の方針に相反しない範囲において、顧客または供給業者の方針を尊重および遵守すべきです。

問：

ある顧客がプロのゴルフ・トーナメントに招待されました。上司に招待について通知したところ、取引の話し合いが行われることを条件に参加が許可されました。トーナメントでくじ引きが行われ、名目上の価値をはるかに上回る価格のゴルフクラブが当りました。このクラブを受け取ることは行動規範に違反しますか？

答：

はい。 コンテスト、くじ引き、抽選で受領する賞品は、贈物とみなされます。贈物の価値が、贈物に関する当社の方針で定義される名目上の価値を超える場合、その贈物を受領することは行動規範への違反とみなされます。このほかの質問についてはEthicsLineからさらなる指導または助言を受けてください。

当社は他者の企業秘密および機密情報を尊重します

コルゲートは、有効で法的強制力をもつ他者の知的財産権を意図して侵害しないことを方針としています。さらに、他者の企業秘密あるいはその他の専有情報を尊重することも当社の方針です。このことは、コルゲートに採用され、元の雇用者の企業秘密または専有情報を有している場合には、とりわけ重要となります。この分野において何らかの疑問が生じた場合、グローバル・リーガル組織に相談してください。

部外者が発明、発見、アイデアを提示してきた場合は、将来的な侵害あるいは金銭の請求から当社を保護することが重要となります。グローバル・リーガル組織に最初に相談する前に、部外者が発見あるいは新規のアイデアの詳細を提示することを許してはなりません。要請されることなしにアイデアを提示しようとする者はすべて、当社の手続きに準じた取り扱いに関してグローバル・リーガル組織または現地の消費者関係担当部 (Consumer Affairs) に照会してください。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第12章の、「[当社の専有情報の保全](#)および他者の専有情報の尊重」に関するガイドラインを参照してください。

消費者 との関係



当社の評判は、当社製品の品質および安全性の上に構築されてきました。品質および安全性への確約は、当社の継続的成長と成功に必要不可欠です。

当社は当社製品に対して最高の基準を設定します

当社は、消費者がコルゲート製品を信頼性、品質、および卓越した性能において信用できるよう専心しています。当社は、当社が事業を営む市場の何十億人もの人々に役立つことに加え、可能な限り最も効率の良い方法で当社製品を生産し、最大数の消費者が購入できる製品価格を実現するために努力しなければなりません。

当社が販売する製品は、法律により設定されたすべての安全性基準のみならず、より一層厳重な当社の基準も、多くの場合満たさなければなりません。当社は、製品の不正変更、誤用、偽造品が疑われる場合に消費者に早急に援助を提供するためのプログラムに参加しています。消費者の健康、安全、福祉は当社が最も重要視することであり、各人は、従業員として、遭遇した製品の品質あるいは安全性に関係するいかなる問題も所属事業部門長に報告する責任を負います。

当社が使用する成分の安全性に関する詳細は、colgatepalmolive.com の「[成分の安全性](#)」に関する当社の方針を参照してください。

当社は消費者のニーズに応えます

コルゲートの事業は消費者製品であることから、当社の成功は消費者の満足、信頼、および愛顧に依存します。当社は、首尾一貫した、公正で、敏感な消費者コミュニケーション・プログラムに従うことにより、最高の形で当社の目標を達成し消費者のニーズに対応することができます。

消費者のニーズおよび志向を予測し、対応することの重要性を認識しています。さらに、当社製品に関して寄せられる消費者の意見、懸念、問い合わせは重要な情報源であると考えます。消費者のニーズは絶え間なく変化していることから、こうした変化し続けるニーズに対応するために人々が何を望むかに継続的に耳を傾けなければなりません。

消費者が不満を表明した場合、当社の消費者関係担当部は問題に迅速かつ丁寧ならびに公正に対処し、消費者の愛顧を持続または回復するため、相応なあらゆる努力を尽くします。

当社の広告は正直かつ正確です

当社の事業の最も重要な側面の一つは広告です。広告は、創造的であり競合的であるべきですが、それと同時に、正直、正確であり、常に関係法令を遵守したものでなければなりません。当社の広告は、以下を含む要素に基づいて、個人を固定観念的にとらえることを回避しなければなりません。

- 人種
- 性別、性同一性
- 婚姻状況
- 宗教
- 年齢
- 心身障害
- 出身国
- 性的指向
- その他法律により保護される特性
- 民族
- 軍役経験

問：

同僚は、正確な量の製品を確実に提供するために、1時間毎に重量測定を実施することに責任を負うライン・オペレーターです。この同僚はテストを実施しておらず、虚偽の文書記録を行っているように思われます。上司に知らせるべきですか？

答：

はい。 当社の評判は、当社製品の品質および安全性の上に構築されてきました。当社の評判を損なう、あるいは顧客または消費者に影響を与える行動が取られたと考える場合は、経営陣または **EthicsLine** に即時に知らせる必要があります。

広告は製品イメージ以上のものを生み出します。広告は、信頼性、信用性に対する当社の評判を構築します。

さらに、当社は当社の広告メッセージが表示される媒体の選択において注意を払います。当社の広告が不必要もしくは過剰な暴力や性を多用する、会社の評判あるいは製品に反社会的または不利な影響を与えるようなTV番組あるいはその他のメディアに表示されることを許容しません。

当社製品が、競合各社の模倣あるいはのれん借用によってではなく、むしろ、製品自体の品質および評判の強みに基づいて成功できるように、広告、商標、意匠を考案し、使用し、選択するにあたり、商取引上の公正基準を遵守します。商取引上の公正基準は以下を命じています。

- 商標の侵害および不正競争に関する現地の法的要件の厳重な遵守。
- 多国籍企業および地域競合会社により利用されている著名な商標、スローガン、広告のテーマ、および画像の模倣の回避。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第14章の、「[広告](#)」に関する当社のガイドラインを参照してください。

政府および法律 との関係

当社は、コルゲートに適用されるすべての法律に従います。法律の文言を上回り、法律の精神を遵守することが当社の方針です。疑問が生じた場合は常にグローバル・リーガル組織に相談してください。

当社は関係法令を遵守します

従業員は、当社の事業慣行ガイドライン、方針および手順の記載に従い、当社が事業を営む国々の法律ならびに米国の関連法規を完全に遵守する形で活動しなければなりません。概して当社の従業員は、適用される最高の基準に従うものとし、現地法と米国の関連法規もしくは当社方針との間に相反が存在すると思われる場合、グローバル・リーガル組織に相談してください。

当社は競争法を遵守します

世界各地のコルゲートとその従業員は、当社が事業を営む各国、州および地域に適用される競争法（米国では反トラスト法と呼ばれる）を完全に遵守しなければなりません。この法律の目的は、企業がより低い価格、さらに革新的な製品、より良いサービスを提供することによって公正に競争すること、ならびに企業が市場の需給の力に干渉しないようにすることで消費者や他の企業を守ることにあります。ほぼすべての国が競争法を制定しています。従業員には、当社が事業を営む地域に適用される競争法を理解し、必要に応じてグローバル・リーガル組織から指導を仰ぐ責任があります。

世界の競争法は、競争に害を及ぼす可能性がある競合各社間の合意を禁止しています。この遵守の鍵は独立性です。コルゲートは、以下をはじめとする様々な事業活動において独立して行動する必要があります。

- 価格設定
- 割引、販売促進
- 購買および販売の条件
- 顧客、流通業者、供給業者の選定
- 生産する製品およびその販売数量の選択

合意が違法とみなされるには、正式な文書によるものである必要どころか、書面である必要もまったくなく念頭に置くことが重要です。合意は、口頭での合意であったり、単に事業行為や普段の会話におけるコメントから示唆されることでもあったりもします。さらに、合意は、違法とされるには、成功裡に実践される必要はありません。

競合他社が将来のビジネスプラン（予定される価格の上昇、供給業者により課せられる価格、新製品の発売など）に関する機密情報または非公開情報を共有または受領すると、企業の独立性に影響し、法に反する合意が行われる可能性があります。業界団体が実施する調査や会合の際にこの点に注意することは特に重要です。一般に、競合他社が同席する会合に参加する場合、その前に、グローバル・リーガル組織から承認を得なければなりません。機密情報の会社情報を競合他社に共有してはなりません。機密情報と思われる競合他社に関する情報を受け取った場合、直ちにグローバル・リーガル組織に通知する必要があります。法務部から承諾を得ることなく、このような情報を利用あるいは共有してはなりません。

競争法はさらに、競争の場が開放的で公正なものとなるように、市場の最有力企業による略奪的あるいは不公正な行為からの保護を提供します。最有力企業以外の企業がとった場合に合法である行動でも、最有力企業がとった場合に違法とみなされることがあります。コルゲートが非常に有力な市場シェアを持つ国においては、特定の予定される行動（特定の割引に関する方針や販売拒否など）が有力な立場を悪用したものと同みなされないか、現地の法務担当者に確認する必要があります。

競争法はさらに、供給業者と顧客および流通業者間の関係に特定の制限を課します。大半の国々においては、顧客または流通業者から価格および販売条件を決定する自由を剥奪する試み、または彼らが独立して営業する権利を制限する試みは、いかなるものも競争法の違反となります。顧客に、当社の「推奨小売（再販）価格」は、推奨に過ぎないことを強調することが重要です。顧客は常に、顧客が選択した価格で自由に販売することができます。

競争法の違反は非常に重大な結果を招き、会社に対する高額の罰金と、関与した個人に懲罰（禁固刑を含む）が科せられることがあります。反競争行為の可能性の調査でさえも、会社の評判を著しく損ね、業務を乱す可能性があります。

意図する行動が競争法の下に問題を生じるか否かに関して何らかの疑念がある場合は、グローバル・リーガル組織に相談してください。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第6章の、「[国際競争](#)」に関するガイドラインを参照してください。

問：

取引先が、歯科学会議の際に当社の直接の競合会社が開催する会議について話してくれました。その会議に出席したいと思いますが、私が競合会社の者だと分かれば入場させてもらえないのではないかと心配しています。自分の身元を隠せる限り出席しても構いませんか？

答：

いいえ。 競合会社に関する情報を取得するために自分の身元を隠すことは決して適切ではありません。また、競合会社との会議に出席する前に、そのような競合会社との会合は反トラスト問題を生じさせる可能性があるため、グローバル・リーガル組織に相談してください。

当社は証券法を遵守します

従業員は、コルゲートあるいはコルゲートが事業を行なう相手方の上場会社に関する公に知られていない情報（非公開情報）、すなわち財務結果あるいは業績、起こりうる合併または買収、部門売却あるいは融資、マーケティング計画、あるいは新製品導入などの情報へのアクセスがある場合があります。

情報は、適切に公に開示されるまで、すなわち情報が適度に広まり証券市場が当該情報に対応する適切な時間が経過するまでは、非公開であるとみなされます。その非公開情報が「重要」であり得るとみなされる場合、すなわち、慎重な投資家が投資の意思決定を下す際に考慮に入れるような情報である場合には、次の証券法および当社の会社方針を遵守しなければなりません。

- 自己勘定、または他者の勘定のために、重要な非公開情報が関係する会社（コルゲートあるいはその他）の株式、債券、あるいはその他の証券を売買すること。
- 非公開情報を根拠として、かかる会社の株式、債券、あるいはその他の証券を売買するよう他者に奨励または勧誘すること。
- 非公開情報を社外の人に開示すること。
- 非公開情報について、コルゲート社内の者と、その人物がかかる情報を知る必要がないのに協議すること。

すなわち、コルゲートにおける雇用を通じて知り得た非公開情報を、証券または投資取引において自身または他者の利益のために利用することはできません。

コルゲートにおける業務を通じて非公開情報を知り得た場合、当該情報の機密性を維持する方法で取り扱い、当該情報が公表されてから合理的な時間が経過するまで、コルゲートもしくはその他の影響が及ぶ企業の証券を取引してはなりません（あるいは、他者に取引の助言を行ってはなりません）。この禁止行為は、ストックオプションの権利行使ならびにコルゲートの福利制度を通じた当社株式への投資または当社株式の処分の決定を含みます。

コルゲートを離職する場合には、非公開情報の守秘性を維持する義務は、当該情報が適切に公に開示済みとされるまでコルゲートを離職した後も続きます。

情報が「重要」であるか否か、あるいは適切に公に開示済みとなっているか否かに関して質問がある場合には、グローバル・リーガル組織に連絡しなければならず、同組織から承諾を得るまでは、影響を受ける証券の売買または情報の開示を自制しなければなりません。

問：

インサイダー情報に基づいて当社の株式を売買できないことは知っていますが、家族や友人に助言することは可能ですか？

答：

いいえ。自分で株式を購入するのと同様に、インサイダー取引法に違反することになります。さらに、助言を受けた人も、あなたの推薦がインサイダー情報に基づくことを知っていた場合、同法に違反することになります。

当社は贈収賄禁止法を遵守します

政府と合法的かつ倫理的な取引に対するコルゲートのコミットメントは、世界中に適用されます。当社の会社方針、米国の海外腐敗行為防止法（FCPA）および世界中の同様の贈収賄禁止法は、当社の従業員または当社の事業に関連して当社の代表として行動するあらゆる人物が、事業を獲得するため、または政府の行為あるいは意思決定に影響を及ぼすために政府関係者に、直接的、間接的を問わず、有価のものを贈与することまたは贈与を申し出ることを禁止しています。

当社の会社方針と特定の関係法令は、公的なサービスまたは機能の迅速化のために、政府関係者に、直接的、間接的を問わず、円滑化のための支払（賄賂）を行なうこと（例えば、コルゲートの申請書を順番を待たずに最初に扱ってもらうため、またはサービスその他の行動が実施される時間枠を短縮するために小額の支払いを行なうこと）を禁止しています。政府発行の領収書により裏付けられる公的手数料は、不正の支払金にはあたりません。

直接的あるいは第三者を通じてこの基準に違反しないようにするために、正式な領収書により裏付けられる法的な必須料金を除き、グローバル・リーガル組織から事前に書面による承諾を得ない場合、価額にかかわらず、支払金、接待、旅行、贈物、その他の有価の物品を政府関係者に贈与することまたは贈与を申し出ることは禁じられています。

詳細は、「政府関係者および政府に関係する支出に関するグローバルポリシー」ならびに関連する「承認フォーム」を参照してください。

「政府関係者」という用語が広義に及び、公的もしくは国家関連の機関や組織に雇用される個人、またはフルタイム、パートタイム、無償にかかわらず、公的な立場で行動する個人を含むことを知ることが重要です。政府関係者は、政府および公的生活のあらゆる部署とレベルに存在し、一般の税関職員から高位の政治家まで、さらに教授、教員、歯科医、獣医、その他の専門家、主要なソートリーダー、国有の報道機関の職員が含まれます。ある個人が政府関係者か否かについて疑問のある場合には、グローバル・リーガル組織に連絡してください。

政府職員との取引およびコミュニケーションにおいては、常に率直かつ正直であるべきです。政府職員に対する既知のまたは意図的な虚偽の声明（口頭または書面）は、従業員と当社の両方を重大な懲罰にさらす可能性があります。

ロビー活動に関する特定の法律により、コルゲートの従業員または代理人が立法過程あるいはその他特定の公的決定に影響を及ぼす目的において、政府職員と連絡を取る場合には、当社および/または当社の従業員もしくは第三者は、ロビイストとして登録し報告することが義務付けられる可能性があります。直接または第三者を通じてこのような活動に関与している、あるいは関与する予定がある場合は、関連要件と次のステップを判断するためにグローバル・リーガル組織に連絡する必要があります。

問：

政府関係者に対する贈収賄を禁じる法律があることは理解していますが、これらの法律は政府関係者以外の者の贈収賄も禁じていますか？

答：

はい。 民間の営利関係者間における贈収賄（民間贈収賄）を禁じる贈収賄禁止法が存在します。これらの法律は、政府関係者と政府職人の贈収賄を禁じる法律と同様に重要であり、厳しく執行されています。当社方針と現地法が、当社事業行動において、政府関係者が民間人かを問わず、いかなる者に対する贈収賄も禁じていることを常に覚えておいてください。

政府関係者の贈賄の禁止に加え、当社の会社方針と関連法規により、民間の当事者の贈賄も禁止されています。贈与、支払金またはその他の便益の約束により、またはその他非合法的な誘引により、社外の者の判断あるいは行動に影響を及ぼすことをすべきではありません。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第10章の、「[政府機関との事業関係](#)」に関するガイドラインを参照してください。

当社は国際貿易規制を遵守します

当社は、国際貿易を統制するすべての関係法令を遵守するとともに、事業を営む場所にかかわらず、関連する米国の貿易規制をも遵守する必要があります。

貿易制裁法は輸出入を規制するもので、当社が特定の国、個人または組織と取引を行なうことを禁止する場合があります。第三者（業者、顧客など）と関わりを持つ前に、米国政府が維持する2つの「制限対象者」リストに照らし合わせて第三者を精査し、当社が自由に取引できるか確認します。

当社は、米国政府による制裁対象以外の外国のボイコットへの参加を禁じられており、かかるボイコットに関連する要請について、直ちに報告することが求められています。適切に対処されるように、かかる要請について即時にグローバル・リーガル組織に報告してください。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第9章の、「[国際事業活動](#)」に関するガイドラインを参照してください。

当社はデータプライバシー法およびデータ保護法を遵守します

コルゲートは、従業員、消費者、顧客、供給業者および当社が取引関係をもつその他の第三者のプライバシーを尊重しています。このため、個人データは責任をもって、また適用されるすべてのデータプライバシー法とデータ保護法に従って取り扱います。

従業員は、当社における雇用の一環として、住所、Eメールアドレス、福利厚生目的での家族情報、ならびにその他の個人情報などの特定の個人情報を会社に提供する場合があります。

同様に、当社の消費者は、製品情報の要請あるいは当社協賛コンテストへの参加を通じて、消費者の氏名、住所、Eメールアドレスなどの個人情報を当社に提供することがあります。

顧客、供給業者およびその他の第三者は、当社との業務関係の過程において、氏名、電話番号、ファクシミリ番号、住所、Eメールアドレス、およびクレジットカード情報などの個人情報を当社に提供する可能性があります。

あらゆる個人情報に関連し、コルゲートは以下の方針としています。

- 他の用途への同意を取得しない限り、また当社の記録保持目的上の必要に応じて、当社に供給された理由においてのみ、個人データを収集、処理、利用および保持する。
- 不正開示または使用を防ぐために、個人データを保護するために合理的な措置を講じる。
- 当社のプライバシー基準および適用されるすべてのプライバシー法を遵守することに同意した、当社の事業を管理するサービスプロバイダーを除く第三者に個人データを共有しない。
- 適用されるすべてのプライバシー法を遵守する。

データプライバシーおよびデータ保護に関する法律は、頻繁に改善・修正されています。当社は、変化しつつあるデータプライバシー法およびデータ保護法を監視することに専心し、それらに鑑みて特定方針を適宜策定することがあります。

詳細は、ourcolgate.comに掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第11章の、「[データプライバシーおよびデータ保護](#)」に関するガイドラインを参照してください。

当社は記録保存法を遵守します

世界の多くの法律により、コルゲートは特定の種類の記録（物理的文書および電子データを含む）を特定の期間にわたり維持することが求められています。これらの要件への違反は、高額の罰金とその他の重い懲罰の対象となる可能性があります。当社は、適用されるすべての法令要件を満たし、当社の業務上の情報保持のニーズにかない、古くなった、あるいは不必要な記録と他の文書を適切に廃棄することを徹底させる「記録管理プログラム」に取り組んでいます。

従業員には、法に従い、訴訟、調査または司法手続きにおいて関連性がある情報と必要とされる情報を開示する義務があります。会社の情報または文書の開示を要求する召喚令状、裁判所の命令または他の訴訟手続きを受領した場合、法により許可される範囲において、グローバル・リーガル組織に通知する必要があります。

この場合、グローバル・リーガル組織のすべての指示に従い、記録保存プログラムの要件にかかわらず、召喚令状、訴訟あるいは調査に対応する、もしくは関連する可能性がある一切の記録を保存する必要があります。さらに、記録の不正破棄は当社および従業員の両方に対する民事上および/または刑事上の処罰、ならびに解雇を含む重大な影響を招く可能性があることから、かかる記録を破棄または改ざんしてはなりません。

記録が捜査、訴訟、あるいは召喚令状に関係するか否かに関して疑問がある場合は、問題の記録を処分する前に、グローバル・リーガル組織に連絡してください。詳細は、ourcolgate.com で「[記録管理プログラムに関する方針](#)」を参照してください。

問：

会社の記録をどの位の期間保存しなければならないか、あるいはそれらを処分できるのはいつか判断するにはどうしたら良いでしょうか？

答：

OurColgate.com から C-P Sites、The Global Legal Organization and Regulatory、そして Records Management Program へアクセスし、当社の記録管理に関するサイトを参照するか、現地の記録コーディネーター（該当する場合）にお問い合わせください。

当社は政治献金を行いません

いかなる国のいかなる政府レベルにおける政党または立候補者であっても、会社の資金や資産を使用して献金することはできません。政治献金には、直接献金（金銭）と金銭以外の寄付の両方が含まれます。金銭以外の寄付には、資金調達イベントのチケットの購入、製品の寄附、従業員による通常の就業時間内のボランティア作業、および資金調達目的もしくは政治目的のコルゲート施設の利用が含まれます。検討している政治献金に関して質問がある場合には、グローバル・リーガル組織に連絡してください。

当社は、従業員および当社に関係する個人（社外ロビイスト、その他の第三者を含む）に対し、直接的または間接的を問わず、いかなる形態においても、政治献金に関する補填または払戻しを行なうことを禁止しています。

個々の従業員は、本人の選択する候補者あるいは政党に個人的な献金を自由に行なうことができます。個人的な献金は、個人の責任であり個人の負担であるため、コルゲートもしくはコルゲートの運営企業を援助する意図をもって行なわれてはならないものとします。

多くの多国籍企業と同様に、コルゲートは業界団体と同業者団体に属し、年会費を支払っています。かかる業界団体が、当社の会費の一部を政治献金に使わないことを徹底するために、当社の最高倫理・コンプライアンス責任者は、当社が有料会員となる米国の業界団体に対し、ある一定額以上の会費をコルゲートから受け取るすべての業界団体に対し年次証明をするよう義務付けています。詳細は、colgatepalmolive.com の「Our Company」セクションから、「[政治献金に関する方針](#)」を参照してください。

社会 との関係

当社は、グローバル・コミュニティに貢献する一員であることに尽くします。

コルゲートでは、口腔ヘルス、パーソナルケア、ホームケア、ペットの栄養の各領域における当社の専門知識を活用し、世界中のコミュニティの健康と幸福の促進と、同様の目的を持つ慈善組織の支援を行っています。当社は、事業を営む各所在地の一市民であり、清浄水の不足、口腔ケアへのアクセス、予防可能な疾病の蔓延を含む重要な健康問題に対処しています。

当社は地元での寄付および慈善活動に参加します

世界全体を通じて地域コミュニティの開発および福祉を促進するプロジェクトに参画することがコルゲートの目標です。こうしたプロジェクトには、慈善運動に参加し、天災の発生時に貧困層、負傷者、ホームレスに援助を施す責任を引き受けることが含まれます。当社が第一に重視するのは青少年であり、特に青少年の教育です。当社では、今日の子どもたちへの投資は明日の皆の利益となると確信しています。それゆえに、読書プログラム、メンタリング・イニシアチブ、スポーツ競技、および世界中のその他の青少年の活動を主催協賛しています。こうした取り組みが、青少年の競争心と達成感の精神を育成します。

さらに、当社の従業員が就業時間以外の時間を割いて本人が選択する地元の慈善活動に参加することを奨励します。

当社の「Bright Smile Bright Future」プログラムは、従業員が働き、暮らす地域コミュニティに、コルゲートが大きな影響を及ぼすことを可能にしています。

問：

地域の政治運動にボランティアで携わることはできますか？

答：

はい。しかし、あなたの政治活動が職場と切り離されていることが重要です。当社は政治献金を行いません。当社が提供するリソース（就業時間、社名を含む）は、このような個人的な活動に利用されてはなりません。

当社の事業に影響を与える問題について政府に協力します

当社は、200以上の国および領域で事業を展開しており、それぞれの国で国家政府および地方政府に協力することを方針としています。当社の業務に影響を与える問題が生じた場合、慎重に考慮したうえで、当社の事業上の目標および必要性を支える特定の課題に関して意見および提案を政府に提供することがあります。しかし、上司およびグローバル・リーガル組織に相談することなくこのような行動をとってはなりません。

当社は搾取的、非人道的な労働慣行に反対します

コルゲートは、児童労働の不法利用、人の搾取、その他あらゆる形態の労働者の容認不可能な待遇に反対します。さらに、体罰、虐待、強制労働、あるいはその他の形態の酷使などの非人道的労働慣行で知られる供給業者または独立業務請負人とは一切取引しないことも、当社の方針です。当社は、労働法への違反を容認しません。会社が違反について認識した場合、これは取引関係終了の原因とみなされます。

当社は万人の人権へのコミットメントを示します

コルゲートは、長年にわたり世界中で人権と労働法を尊重することに取り組んでおり、国連の世界人権宣言を支持しています。当社は、グローバルサリバン原則 (Global Sullivan Principles) の設立メンバーの1社でもあります。この目的において、当社は以下の基準を実践し、以下の基準を促進するビジネスパートナーとの協働を求めます。

- 人種、肌の色、宗教、性別、性同一性、出身国、民族、年齢、性的指向、心身障害、婚姻状況、軍役経験、あるいはその他法律により保護される特性にかかわらず、あらゆるレベルの従業員への均等な機会の提供
- 幸福を促進し、環境を保護する安全で衛生的な職場
- 従業員が少なくとも基本的なニーズを満たせる賃金と、本人の技能および能力を向上する機会
- 従業員の合法的な結社の自由の尊重と、すべての団結権および団体交渉権の認識

環境 との関係

よりクリーンでよりヘルシーな環境は、コルゲートにとって、それが正しい行いであるという理由だけでなく、事業的に意味を成すことから重要なことです。当社は、地球の限りある資源の保護のためにできること、そして将来の世代が受け継ぐ地球の健全性の維持に取り組んでいます。

サステナビリティと社会的責任に専心します

コルゲートでは、当社事業のあらゆる側面に注いでいる集中的な取り組みの姿勢を、サステナビリティにも注いでいます。コルゲートは、従来からサステナビリティの原則を支持しており、当社の中心的価値観、すなわち、ケア、グローバル・チームワーク、継続的改善が、サステナビリティへの取り組みを導いています。当社は常に人、パフォーマンス、地球 (People, Performance, Planet) を中心としています。

さらに当社は、次世代の幸福を促しながら、当社事業が首尾一貫した責任ある成長を遂げ、当社が仕える人々(世界中の当社従業員、株主、消費者、顧客およびその他の利害関係者を含む)が利することを確保するという、世界的なサステナビリティ目標の達成に取り組んでいます。

ここ数年で事業運営にこれらのイニシアチブを統合したため、サステナビリティと社会的責任への当社のコミットメントは上昇しています。この統合アプローチは、最も優秀な人材を採用し維持するのに役立ち、利害関係者との関係を高め、イノベーションへの新たな機会を提供することにより、当社のサステナビリティと社会的責任へのイニシアチブと当社の業績を強化しています。

当社のサステナビリティ・プログラムおよびイニシアチブに関する詳細は、colgatepalmolive.com の「サステナビリティ：世界に贈る、笑顔をもたらす理由」のセクションを参照してください。

環境保護に努めます

当社は、地球の限りある資源の保存と保護のためにできることに取り組んでいます。当社の環境関連の取り組みは、当社のエネルギー利用、炭素排出量、水の使用、廃棄物の処理にわたっています。このため、適用される環境法規制の文言と精神ならびにそれらが表す公序を各人が厳守しなければなりません。

当社は、一般公衆との開放的なコミュニケーションを促進し、事業を営む地域コミュニティとの活動的かつ生産的なパートナーシップを維持します。また、当社の環境戦略およびプログラムに関する情報を消費者と共有し続け、地域コミュニティ・リーダーおよびその他の人々との協力関係を維持します。

当社のエコロジカル・フットプリントを削減するために進行中の戦略は、当社製品の生産、梱包、流通、市販における必須の部分であり続けます。

詳細は、ourcolgate.com に掲載される当社の「ビジネス プラクティス ガイドライン」第18章の、「環境、労働安全衛生に関する方針声明」を参照してください。

株主 との関係

当社の株主の利益を最優先に考え、株主価値を確立するために尽力します。

当社は株主価値を保護するために十分なコーポレート・ガバナンスを支持します

この行動規範が主要構成部分となっているコルゲートのコーポレート・ガバナンスの方針および手続きは、株主を防護する重要な役目を果たします。近年、米国議会、証券取引委員会、ニューヨーク証券取引所、および世界中のその他の規制当局および管轄機関により、多数の抑制と均衡が制定されています。倫理的な企業行為を促進することがその目的ですが、これは、当社では長年にわたり標準的な実務行為とされてきたことです。当社の株主には、相当過半数が独立取締役から構成される独立取締役会ならびに監査、報酬、およびガバナンスの諸事項を監督する独立委員会により、十分な対応がなされています。頻繁に更新される委員会の綱領ならびにガバナンス関連指針が、取締役の役割や責任、ならびに当社のコーポレート・ガバナンスの原則を明確に定義します。

当社のコーポレート・ガバナンス・プログラムに関する詳細は、「[重要なコーポレート・ガバナンス問題に関するコルゲート・パルモリーブ取締役会ガイドライン](#)」、ならびに当社の監査委員会、任命・コーポレートガバナンス委員会、人事・組織委員会、および財務委員会の各々の綱領を参照してください。これらはすべて、colgatepalmolive.com から入手可能です。

投資家の信頼感を高めるために堅強な監査プログラムを維持します

コルゲートは、当社の財務報告書の質、完全性、透明性を確約します。これは、世界中の財務管理を監視する社内監査グループ、幅広い委任権を有する独立監査法人、この分野を監督する独立監査委員会を含め、長年にわたり確立されている当社の方針および手続きに反映されています。これらリソースの効果を最大化するために、従業員には、社内監査役、社外監査法人、監査委員会との開放的で正直なコミュニケーションおよび自由な情報交換に従事することが期待されます。

当社の社内監査役、独立監査人、および監査委員会の重要な役割に関する詳細は、colgatepalmolive.com で「[監査委員会綱領](#)」を参照してください。

株主に当社の進展に関する最新情報を継続的に提供します

株主は、毎年、コルゲートの年次総会に招待されます。年次総会では、前年度中の当社の進展が検討され、また、株主は当社の上層経営陣に質問する機会があります。翌年度の年次総会までの間、株主は当社ウェブサイト、colgatepalmolive.com にアクセスすることができます。

コンプライアンス の義務



書面で行動規範を備えるだけでは不十分です。行動基準を支持することは、従業員全員の責任であり、従業員個人の行動は、当社の最高の倫理水準へのコミットメントを反映するものでなければなりません。

コミュニケーションと開示は必要不可欠です

コルゲートによる雇用を受諾するにあたり、従業員は各自、こうした行動基準、すべての法規制、事業慣行ガイドラインに包含される、より詳細にわたる指針、その他当社とその子会社、事業部門ならびに事業本部により作成される方針、手続き、指針の遵守に対する責任が生じます。マネジャーには、これらの基準を部署内の人員に伝達し、彼らの基準の理解および遵守を徹底し、彼らが倫理上、法律上の問題を自由に話し合える雰囲気を生み出す責任があります。

当社には従業員が指導を必要とするためのために社内リソースがあります

行動規範は、すべての質問に対する確定的な回答を提供することはできません。従って当社は、究極的には行動過程において指導を求める適切な時期を判断する分別を含め、当社の高レベルの基準を遵守するために必要とされることを見極める各人の良識ある分別に依存せざるを得ません。行動規範に記載される内容に関する質問がある場合、または特定の状況における最善の行動について疑問がある場合は、以下に指導を求めてください。

支援が必要な場合には？



従業員



法務部

遵守に関する質問がある場合、あるいは法、規制、会社方針（行動規範および事業慣行ガイドラインを含む）の解釈に関する助言や援助を受けたい場合は、グローバル・リーガル組織にお問い合わせください。



グローバル企業 倫理・コンプライ アンス部

質問がある、行動規範が特定の状況にどう適用されるかについて指導を求める、あるいは違反の可能性について「率直に発言」する場合、EthicsLineを通じてグローバル企業倫理・コンプライアンス部に問い合わせることを奨励します。



人事部

現地の人事部担当者は、倫理上の問題に関する助言を求め、相談するためのもう1つの貴重なリソースです。



上司

上司または組織のリーダーシップチームのメンバーと、倫理上の懸念や質問について相談してください。上司らが自ら支援できない場合、適切なリソースに照会します。また、上司と話づらい場合には、人事部、グローバル企業倫理・コンプライアンス部に相談することもできます。

問：

自分のチームメンバーが「率直に発言」し、懸念を提起してきた場合、上司として自分はどうしたらよいでしょうか？

答：

リーダーには、オープン且つ正直に発言し、問題を提起するよう他の従業員に奨励することが期待されます。これには、慎重に扱われるべき問題も含まれます。チームメンバーが懸念を提起した場合、または支援を求めてきた場合には、客観的でオープンな、応じる姿勢を保つようにしてください。当社の倫理基準へのコミットメントを示してくれたことに対し、チームメンバーに感謝します。自身が直ちに回答を提供する準備ができていない場合であっても、これは、適切な指導を提供するための助力として、人事部、グローバル・リーガル組織、グローバル企業倫理・コンプライアンス部などの他のリソースを活用する機会となります。

適切なリソースに懸念を報告するために率直に発言します

従業員は、行動規範、事業慣行ガイドライン、あるいはその他の当社方針への違反を知った場合、または違反を疑う十分な理由がある場合には、その情報を上司、人事部、グローバル企業倫理・コンプライアンス部あるいはグローバル・リーガル組織に即時に報告することを義務付けられています。あるいはその代わりに、より上層レベルの経営陣に、報復の恐れなく自由に相談できます。

自分に対して否定的な行動が取られないようにするためには？

コルゲート・パルモリーブ EthicsLine を利用して、グローバル企業倫理・コンプライアンス部に連絡することができます。

EthicsLine を通じて提供された情報はすべて検証され、行動規範に関連するものである場合、グローバル企業倫理・コンプライアンス部および/またはグローバル・リーガル組織により直ちに徹底調査されます。調査には複雑な法律問題が関与する可能性があることから、報告者が自ら調査を実施しないことが不可欠です。自ら行動することによって、調査の完全性が損なわれ、報告者および当社の両方に悪影響が及ぶ可能性があります。

現地法で認められる場合、匿名で報告することができますが、調査とフォローアップを支援するために電話する際には、身元を名乗ることを奨励します。また、一部の国では、報告できる情報の種類を制約する法律を備えています。この法律が該当する場合には、グローバル企業倫理・コンプライアンス部の担当者が、質問または懸念に答えるため所属事業部門内の担当者に照会します。

しかし、身元を明かすことを希望する場合、当社は個人の身元と提出された情報を秘匿するために適切な手段をすべて講じ、開示が以下にあたる、知る必要がある場合にのみ情報を開示します。

- 効果的な調査を実施し適切な措置を講じる上で開示が必要な場合。
- その他、関係法令により開示を命じられる場合。

報告や苦情には個人データを含む可能性があります。違反または違反容疑の調査の目的において、関係法令に従い、国内で収集された個人データを米国を含む他国に移転する必要性が生じる可能性があります。このような場合においては、報告を調査するために、グローバル企業倫理・コンプライアンス部の業務に関与する当社の従業員ならびに当社の実体により、個人データが利用される可能性がありますが、利用は当該目的において必要とされる妥当な期間のみに限定されます（かかる個人データは、その後、会社方針あるいは法律に厳密に従って破棄または保持されます）。

行動規範 ETHICSLINE



ethics@colpal.com



(800) 778-6080
(米国、カナダおよびプエルトリコ
専用無料通話)
1- (212) 310-2330
(他の地域からのコレクトコール)



Global Ethics & Compliance
Colgate-Palmolive Company
300 Park Ave, 5th Floor
New York, NY 10022



ウェブツール



ファクシミリ
(212) 310-3745

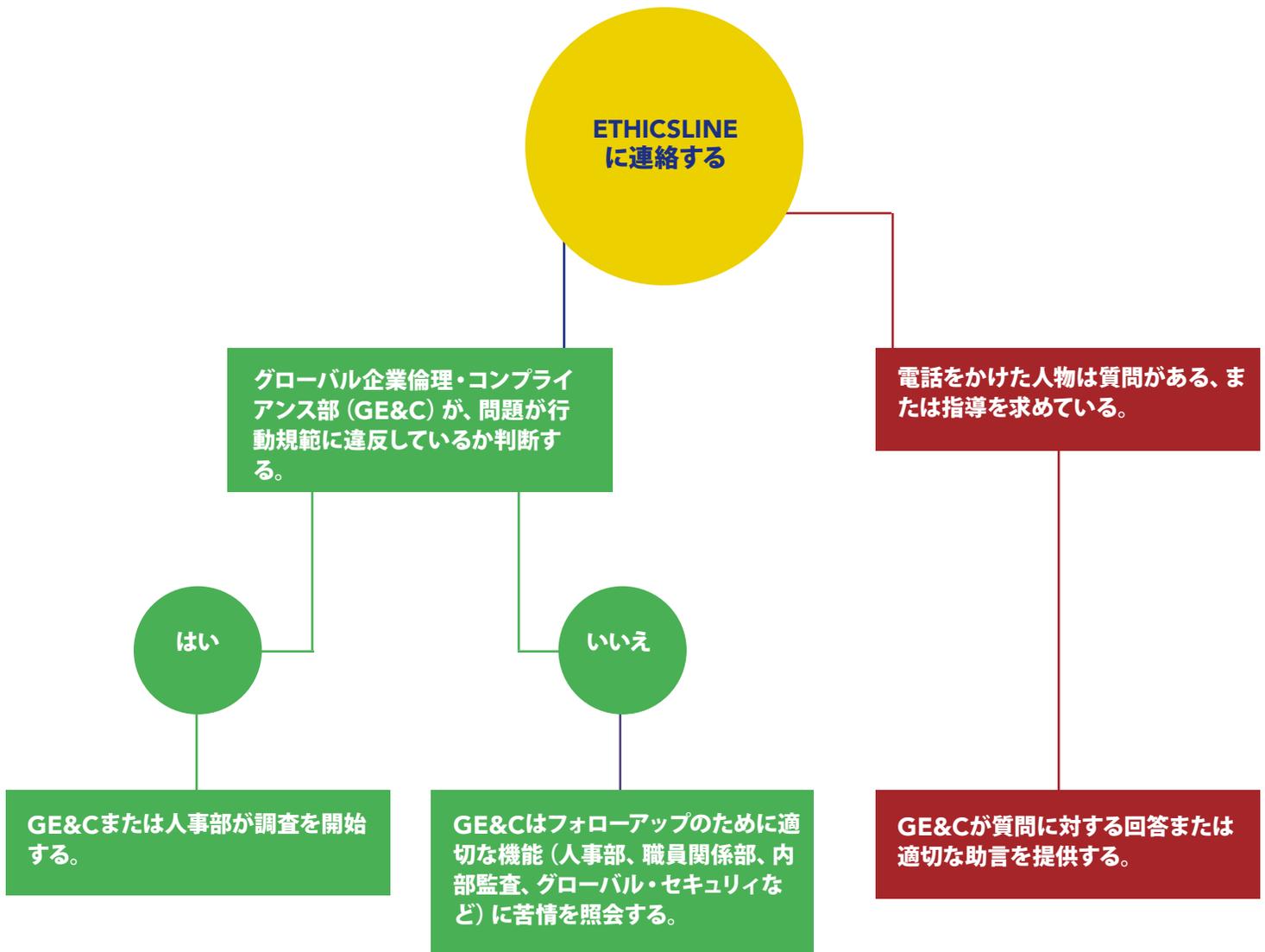
問：

従業員の声は大きな違いを生むと聞いていましたが、近頃重大な懸念について上司に「率直に発言」したにもかかわらず、何も行われていません。どうすべきでしょうか？

答：

当社が誠実さと最高の倫理水準の社風を維持することにおいて、従業員一人ひとりが責任を負っています。あなたの懸念に対処するための適切な行動が取られていないと思われる場合、他に利用できる多くのリソースがあります。ひるむことなく、上層レベルに懸念事項を提起し、次のレベルの管理職、人事部、グローバル・リーガル組織あるいはグローバル企業倫理・コンプライアンス部に「率直に発言」してください。当社は、従業員による懸念事項の提起に感謝します。

ETHICSLINE に連絡した後の手順



コルゲートの調査プロセス



懲罰措置が取られる可能性があります

行動規範またはビジネス プラクティス ガイドラインに違反する行動に対し、当社は「ゼロ・トレランス」の方針を実施しています。これは、違反の発生が立証された場合、違反の本質と範囲に見合う適切な措置が取られることを意味します。当社のいかなる個人またはマネジャーも、この行動規範を遵守しない行為に従事する権限、または他者のかかる行為を授権、指示、承認、あるいは容赦する権限を一切有しません。従って当社は、行動規範またはビジネスプラクティスガイドラインを不遵守とする行為の発生を防止すること、発生し得るかかる行為はそれが発見され次第、妥当に、できる限り速やかに停止する措置をとります。行動規範またはビジネスプラクティスガイドラインに違反した従業員は、地域法に従い、解雇を含む懲罰措置の対象とされる可能性があります。

行動規範は従業員および当社の全活動に適用されます

行動規範および事業慣行ガイドラインの遵守は、グローバル企業倫理・コンプライアンス部により監視されます。同部は、行動規範やその関係プログラムの設定、実施、強制執行に関して、最高経営責任者/取締役会長および当社取締役会の監査委員会会長に報告を行います。

グローバル企業倫理・コンプライアンス部に宛てて、またはその他のチャネルを通じて報告された情報は、必要に応じて、極秘に監査委員会に伝達されます。

行動規範は、コルゲート・パルモリーブ・カンパニーおよびその子会社に勤務する役員を含むあらゆる人員に適用され、さらに関係法令に準じて当社の取締役および代理人にも適用されます。行動規範は、当社の社内イントラネットおよび社外のウェブサイトの両方からオンラインで入手することができ、当社を代表して行動するすべての第三者に提供される必要があります。毎年世界中のコルゲートの従業員が、行動規範のトレーニングと宣誓手続きに参加することにより、遵守と当社倫理基準へのコミットメントを実証しています。



COLGATE-PALMOLIVE COMPANY

300 Park Avenue
New York, NY 10022
212-310-2000
www.colgatepalmolive.com